

「学校における業務改善」

「南種子町立西野小学校」の実践紹介

効果が期待される取組

◎全職員で取り組む業務改善・・・ 1 適正な勤務時間の管理 2 学校独自のルールづくり

実施前の課題

- ・ 適正な勤務時間の管理
誰がいつ退勤するのか不明。
- ・ 学校独自のルールの明確化
新任や異動してきた教職員は、
新しい学校のルールに慣れること
に大変苦労する。



実施後の成果

- ・ 時間外勤務の縮減や退校予定時刻の可視化。
- ・ 業務を統一して行う共通理解事項の明確化。
- ・ ボトムアップによる業務改善の意識化。

業務改善を目指した取組の詳細

1 適正な勤務時間の管理

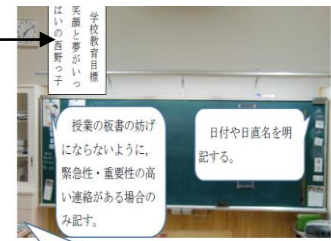
- (1) 「退庁時刻のお知らせ」で、今日の施錠時刻の明示。
- (2) (1)を見て、「カエル」(各自が退校予定時刻を記入する一覧)への記入。

本取組により、時間や効率化を意識した業務遂行が可能になる。また、自らの健康管理に時間を有効活用するようになる。



2 学校独自のルールづくり(一部掲載)

- (1) 教室設営
- (2) 電子データの共有化。



3 ボトムアップによる業務改善

- (1) アイディアの募集やアンケートの実施及び検討



- (2) 意見を、採用、継続審議、不採用などに振り分け (2か月に1回の話し合いの場を設定)

今後の課題、計画

- 施錠時刻や各自の退校予定時刻を可視化することで、業務改善の意識化が図られてきつつある。
- 業務改善への意識が高まるにつれ、職員からのアイディアが出るようになってきている。